

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : Glendale Community College

留学期間 : 平成 27 年 8 月 2 日 ~ 平成 29 年 8 月 31 日

グレンデールに来てからの 1 年間、同じ家にホームステイしています。ホストファミリーはとても親切で生活の面で困った時、いつも助けてもらっています。英語もとてもわかりやすい英語で、コミュニケーションに困ることは最初の時期からあまりありませんでした。他にも 3 人留学生がいて、彼女たちとの英語での会話で、英語のスキルも上がったと思います。ホームステイ先をでて一人暮らしやルームシェアをしている留学生もたくさんいますが、学校への通学も便利な場所にあり、ルームメイトもたくさんいるので私はこの家に住み続けています。カリフォルニアは日本ほど電車やバスが発達してなく休みの日は車がないと厳しいです。そしてカリフォルニアは英語が第一言語ではない人がたくさんいるので周りの人は私の英語を理解しようと努力してくれます。私は最初の半年ぐらいで、日常生活は問題なく過ごせるようになりました。学校のことでなにかわからないことがあれば、先輩の留学生に聞いたり、インターナショナルオフィスに行けばいつでもカウンセラーが助けてくれます。進路のことや自分が取るクラスについてもカウンセラーと相談して決めることができます。

この 1 年間は一般教科と ESL を並行して取っていました。ESL では複雑な文法を復習したり、リーディングをしたり、一番長い時間をかけてエッセイの練習をしました。書き方のコツや、書く前のノートの取り方、構成など、かなり丁寧に学びました。その他にもグループになってディスカッションしたり、意見をまとめてクラスの前で発表したり、聞いているだけの授業というよりは、自分から参加していくという形のクラスでした。また、たくさんの方からの留学生がいたので、休憩中の会話も楽しかったです。他の留学生はとても積極的に発言したり質問したりしていたので初めは緊張しましたが、慣れてくるとだんだん自分も発言できるようになりました。エッセイも何度も練習したので一つのことについて自分の意見をしっかり持って、それについてたくさん書くようになりました、書くスピードも日本にいる時と比べて早くなったと思います。また、たくさん文章を読む中で自然に文法が身について、より自然な英語の文章が書けるようになったと感じています。クラスによっては毎日宿題があり、毎日英語に触れる習慣ができました。ESL を取ったことで、アメリカ人ばかりの一般のクラスや専攻分野のクラスへの準備が出来たと思います。

一般教科のクラスではアメリカ人と同じ内容を勉強するので慣れるまでに少し時間がかかりました。今でも専門的な用語が聞き取れなかったり、スピードについていけなかったりしますが、教材を読んで予習、復習をすれば留学生でも必ずいい成績が取れる授業になっています。教授のオフィスに行けばどの教授も 1 対 1 で熱心に教えてくれます。クラスはほとんどが 20 人ほどの少人数なので教授との距離も近く、質問もしやすいです。私が一番印象に残っているクラスはスピーチのクラスです。少人数なので日本人も留学生もほほいなく、そんな中での自分のスピーチに全く自信が持てませんでした。物事を英語で説明したり、自分の意見を英語でまとめたりすることの難しさを改めて痛感しました。アメリカでは高校でもスピーチのクラ

スがあるらしく、他の生徒は堂々とクラスの前で話していました。アメリカでは会社に就職する前から教育の場でも物や自分を上手くプレゼンする力が重視されているのだと感じました。初めはすごく苦労しましたが、他の生徒のスピーチを聞いていくうちに、英語のフレーズや自然な言い回しを覚えたり、どうすればわかりやすく相手に伝えられるかを学べたり、一番難しかったクラスでしたが、その分たくさんのことを新しく知れたクラスでした。

スピーチのクラスに限らず、どの教科のクラスでも自分の意見を話す機会が日本より多いと感じました。ディスカッションのグループを作るとすぐに他の生徒が自分の考えを話し始めたり、教授が質問するとすぐに生徒から答えが返ってきたり、教授と生徒が日本よりも距離が近いと感じました。そして、自分はディスカッションがすごく苦手だということに気づきました。最初の頃はなかなか会話に入っていけず、自分と似た意見に賛成することしかできませんでした。相手の意見の全てを聞き取れなくて、反論するにもできない状況もありました。でも今は慣れてきて、少しずつ自分の意見も話せるようになりました。また、クラスの中でプレゼンテーションをする機会も多く、自分の考えを常に持って、考えながら授業を受ける習慣が少しずつついてきたと思います。

アメリカに来てカレッジに通い出す前にできることは実際にアメリカ人の学生が書いたエッセイのサンプルなどをインターネットで検索して読むことです。私も実際に今やっていることで、すごく難しい物もありますが、中には親しみやすいトピックもあります。学校では習えない言い回しや自然な文章の書き方を知ることができます。留学がスタートして、クラスでエッセイを書かないといけない時も、自分の思っていることをスムーズに英語で表現できると思います。さらに、YouTubeなどで検索すれば大学の講義の様子などもたくさん出てきます。実際にアメリカで受ける前にYouTubeで雰囲気を知っておけば、早く慣れることができます。アメリカ人が書くエッセイやクラスの雰囲気を日本にいる頃から知っておけば、アメリカに来てからの英語の上達のスピードも早いと思います。